

# 令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 商業・サービス産業支援課

担当名: 映像コンテンツ担当

内線: 3734

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
p8	映像関連産業振興費			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	映像関連産業振興費	
事業期間	平成14年度～令和14年度	根拠法令	なし			針路	11 稼げる力の向上	SDGsゴール	8
						分野施策	1101 新たな産業の育成と企業誘致の推進	SDGsターゲット	8-3
1 事業概要	映像関連産業の導入・集積を図るため、彩の国ビジュアルプラザの効果的・効率的な管理運営を行う。 あわせて、本県における映像関連産業の振興を図るため、各種の施策を展開する。  彩の国ビジュアルプラザ映像機器更新費 △5,000千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア SKIPシティA2街区維持管理業務費 294,074千円 SKIPシティA2街区施設の維持管理を行う。 (清掃業務、防災・防犯、設備衛生管理、植栽管理、駐車場管理など) イ SKIPシティA2街区維持管理業務費(ファシリティマネジメント経費) 62,394千円 ウ 彩の国ビジュアルプラザ管理運営費 537,328千円 彩の国ビジュアルプラザ運営委託費等 映像ミュージアム、スタジオ、映像ホール、インキュベート施設(映像制作支援室、インキュベートオフィス)、映像公開ライブラリー、情報発信システムを運営するとともに、広報イベント等を実施する。 エ SKIPシティ国際Dシネマ映画祭負担金 40,100千円 第20回映画祭開催費(令和5年7月開催)、第21回映画祭準備費(令和6年開催予定) オ 彩の国ビジュアルプラザ映像機器更新費 27,625千円  (2) 事業計画 ア 令和5年度 開設後20年を経過した彩の国ビジュアルプラザにおいて、賑わい創出と集客を意識した効果的・効率的な事業実施、映画祭や関係業界との連携等により映像産業を担う人材の育成と映像関連産業の振興・集積を図る。 イ 令和6年度～ 引き続き、効果的・効率的に事業を展開し、映像産業を担う人材の育成と映像関連産業の振興・集積を図る。  (3) 事業効果 映画祭のコンペティション部門に99を超える国と地域からの作品応募、育成したクリエイターが国内外の映画祭での受賞や作品の劇場公開などで活躍、年間2万人以上の子ども達が映像ミュージアムの映像学習を体験  (4) 補正予算の概要 ア 映像編集機器(F1ame4Kシステム)の契約差金による減額 イ 配給収入等の発生に伴う、諸収入・雑入への財源更生					
2 事業主体及び負担区分	(県10/10)								
3 地方財政措置の状況	なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×4.5人=42,750千円								
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
		使用料・手数料	財産収入	諸収入	県債				
決定額	△5,000			1,290	△5,000			△1,290	956,521
現計額	961,521	72,608	18,602	10	89,000			781,301	

## 事業内訳書

事業名	映像関連産業振興費		
単位事業名	彩の国ビジュアルプラザ管理運営費（指定経費）	予算額	0千円

○歳入

（単位：千円）

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
諸収入・ 雑入	1,290	—	配給収入等
一般財源	△1,290	—	
合計	0	—	

単位事業名	彩の国ビジュアルプラザ映像機器更新費	予算額	△ 5,000千円
-------	--------------------	-----	-----------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・ 商工債	△5,000	—	彩の国ビジュアルプラザ設備整備事業債
合計	△5,000	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
備品購入費	△5,000	—	映像編集機器（Flame 4Kシステム）の契約差金による減額
合計	△5,000	—	